

北海道白樺高等養護学校開校60周年記念

開校50周年～60周年のあゆみ



60th



挨拶

60 年の歴史と伝統

北海道白樺高等養護学校長 山 本 貴 路

北海道白樺高等養護学校が、開校 60 周年を迎えるにあたり、これまで多くの関係の皆様の御支援並びに御協力を賜りましたことに感謝を申し上げます。また、本校の 60 年間の歩みとともに、現在本校に携わる教職員一同、誇りと喜びを感じ、「率先垂範」「共汗協働」「師弟同行」「凡事徹底」を実践し、「主語（主体）は生徒」として、日々教育活動に努めています。

本校は、ご存じのとおり、昭和 40 年に全国初の職業学科を設置する高等部のみの養護学校として開校しました。令和 7 年 3 月に 58 回生が卒業し、これまで 3,077 名の卒業生が北海道各地の数多くの職場で働き、活躍しております。平成 2 年に 5 学科制となり、翌年、モデル高等部の開設により 7 学科となりました。令和 3 年に 6 学科となり、現在、6 学科 18 学級 140 名の生徒が在籍しております。

50 周年からの 10 年間の歩みの中で重大な出来事がありました。令和 2 年 1 月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認され、同月道内においても感染者が確認されました。2 月 28 日、北海道知事から「新型コロナウイルス緊急事態宣言」が発表されるとともに、文部科学省より一斉臨時休業の要請が出され、その年の卒業式は、全体では実施できず、会議室にて個別に授与することとなりました。新年度、学校が再開されたものの、再び 4 月 17 日より 45 日間の臨時休業となりました。6 月 1 日「新しい生活様式」を踏まえ、様々な制限の中、学校が再開されました。令和 5 年 5 月 8 日に 5 類感染症に移行されるまでの約 3 年間は、密閉・密集・密接を避ける中でも、学習活動を止めないための教職員の学習

内容や学習環境の工夫は、敬意に値するものであり、生徒も同様に、規制を受け止め、徐々に規制が緩和されるごとに経験を積み、コロナ禍の中でも確実に成長を続けました。

時を同じくして、北広島市にプロ野球の球場建設が始まりました。本校としては、造成により伐採された木材の利用の依頼を受け、作業学習で製作が始まりました。また、周辺の商業施設の建築や公園の整備でも製品の依頼があり、学習活動の目標が明確となり、生徒自身の自信にもつながることとなりました。

これまで多くの卒業生が楽しみにしていた様々な学校行事にも、コロナ禍で集まることができない状況が続きましたが、現在では、「卒業生と父母の会」主催の一泊旅行にも、全道各地から多くの同窓生や旧職員が一堂に会し、楽しい時間を過ごしています。また、学校祭などの学校行事にも、多くの卒業生が来校し、同窓生の白樺高等養護学校への熱い思いと強いつながりに、改めて本校の歴史と伝統を感じます。

今後も、白樺高等養護学校が、本道の高等養護学校の先駆けであることを胸に刻み、教職員が一丸となり、本校の歴史と伝統を大切にしつつ、常に前を見据え、主語を生徒として、自立と社会参加を目指し実践してまいります。

結びになりますが、本校が 60 年を迎えることができましたのも、関係機関、地域、保護者、旧職員など、皆様に御協力と御尽力をいただいたものと感謝申し上げます。引き続き、本校が魅力ある学校となりますよう、御指導並びに御支援を賜りますようお願い申し上げます。

㊗ 開校 60 周年記念事業

本校は令和 7 年、開校 60 周年という節目を迎えました。この記念の年には、五つの記念行事（事業）を行いました。50 周年からこれまでの歴史を振り返り、未来へ思いをつなぐ貴重な機会となったのではないかと思います。

🏃 開校 60 周年記念スポーツ大会

新種目として、玉入れ、大縄跳びの種目が加わりましたので、記念事業として、競技用の玉入れセットと大縄跳びを贈呈しました。



🎸 開校 60 周年記念芸術鑑賞会

通常の予算では難しい団体に来ていただきましたために補助を行いました。

温かくて楽しい音楽を届けてくれる「キミとネ」に来ていただき、様々な世界の楽器の演奏を鑑賞することができました。

🍞 開校 60 周年記念しらかば店

開校 60 周年記念クリア フォルダを作成し、生徒、教職員、しらかば店（作業製品販売会）に来場された先着 100 名に配付しました。



【デザイン：美術部 1年S・Nさん】



開校 60 周年記念講演会

きつねダンスの考案者で株式会社ファイターズスポーツ＆エンターテイメントコンシューマー部 尾暮沙織氏を招き、きつねダンスを考案したことなどの講話をいただきました。また、体を動かす大切さを教えていただき、きつねダンスやYMCA を踊りました。



開校 60 周年記念学校祭

1日目は生徒自身が楽しむ学校祭。2日目は一般公開で生徒が主体となって来校者をおもてなしする学校祭を目指して全学年がイベント活動を企画し、ゲームや屋台、お化け屋敷など参加型のイベントを実施。記念事業として配線及び配線カバーを寄贈しました。



白樺高等養護学校 開校 60 周年記念学校祭



テーマ：創造～最高の仲間たちと最高の瞬間を～

令和 7 年 12 月 5 日 (金) 【第 1 日目】(生徒のみの活動)

12 月 6 日 (土) 【第 2 日目】一般公開 9：00～12：30

開校 50 周年～60 周年の歩み

2015-平成 27 年度-

- '15. 4. 9 入学式
- 4. 22 新入生歓迎会
- 5. 18 3学年修学旅行(～5/21)
- 5. 21 1学年炊事遠足
- 5. 26 芸術鑑賞会
- 6. 5 マラソン大会
- 6. 23 2学年宿泊研修(～6/25)
- 7. 9 スポーツ大会
- 8. 28 決意発表会
- 8. 31 2学年職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 19 2年職場実習報告会
- 9. 6 しらかば店(～9/8)
- 9. 30 3学年現場実習報告会
- 10. 11 しらかば店(～10/13)
- 11. 6 学校祭(～11/7)
- 11. 28 開校 50 周年記念式典・祝賀会
- 12. 9 北広島高校との音楽交流会
- 12. 16 生活体験発表会
- '16. 2. 17 全学年校外スキー学習
- 2. 25 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 5 卒業証書授与式



授業風景(コンクリート作業学習)

2016-平成28年度-

- '16. 4. 11 入学式
- 4. 20 新入生歓迎会
- 5. 16 3学年見学旅行(~5/19)
- 5. 19 1学年炊事遠足
- 6. 3 マラソン大会
- 6. 6 企業のための学校見学会
- 6. 8 学校公開
- 6. 14 芸術鑑賞会
- 6. 20 2学年宿泊研修(~6/23)
- 7. 14 スポーツ大会
- 9. 2 決意発表会
- 9. 5 2学年職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 30 2学年職場実習報告会
- 10. 11 しらかば店(~10/13)
- 10. 14 3学年現場実習報告会
- 11. 11 学校祭(~11/12)
- 12. 7 北広島高校との音楽交流会
- 12. 14 生活体験発表会
- '17. 2. 22 全学年校外スキー学習
- 3. 2 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 11 卒業証書授与式



左：3学年見学旅行(関西方面)



右：授業風景(造形美術)

2017-平成29年度-

- '17. 4. 11 入学式
- 4. 19 新入生歓迎会
- 5. 22 3学年見学旅行(~5/25)
- 5. 25 1学年炊事遠足
- 6. 5 企業向け学校説明会
- 6. 7 学校公開
- 6. 9 マラソン大会
- 6. 14 芸術鑑賞会
- 6. 20 2学年宿泊研修(~6/23)
- 7. 13 スポーツ大会
- 9. 1 決意発表会
- 9. 4 2学年職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 29 2学年職場実習報告会
- 10. 10 しらかば店(~10/11)
- 10. 13 3学年現場実習報告会
- 11. 10 学校祭(~11/12)
- 12. 6 北広島高校との音楽交流会
- 12. 13 生活体験発表会
- '18. 2. 20 2学年校外スキー学習
- 2. 21 1・3学年校外スキー学習
- 3. 1 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 10 卒業証書授与式



1学年炊事遠足(カレー作り)

※'18. 3 生活園芸科・生活窯業科を閉科



左:3学年の園芸作業



右:3学年の学校祭作業製品販売

2018-平成30年度-

- '18. 4. 10 入学式
- 4. 18 新入生歓迎会
- 5. 22 3学年見学旅行(~5/25)
- 5. 24 1学年炊事遠足
- 6. 8 マラソン大会
- 6. 13 芸術鑑賞会
- 6. 19 2学年宿泊研修(~6/21)
- 7. 12 スポーツ大会
- 8. 31 決意発表会
- 9. 3 2学年職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 27 2学年職場実習報告会
- 10. 4 企業のための学校見学会
- 10. 11 しらかば店
- 10. 12 3学年現場実習報告会
- 11. 9 学校祭(~11/10)
- 12. 5 北広島高校との音楽交流会
- 12. 12 生活体験発表会
- '19. 2. 19 2学年校外スキー学習
- 2. 20 1・3学年校外スキー学習
- 2. 28 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 9 卒業証書授与式



2学年宿泊研修



2019-平成31年度-

- '19. 4. 9 入学式
- 4. 17 新入生歓迎会
- 5. 20 3学年見学旅行(~5/24)
- 5. 23 1学年炊事遠足
- 6. 7 マラソン大会
- 6. 18 2学年宿泊研修(~6/20)
- 6. 26 芸術鑑賞会
- 7. 11 スポーツ大会
- 8. 30 決意発表会
- 9. 1 2学年職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 27 2学年職場実習報告会
- 10. 3 企業のための学校見学会
- 10. 11 3学年現場実習報告会
- 10. 15 しらかば店
- 11. 8 学校祭(~11/9)
- 12. 11 生活体験発表会
- 12. 18 北広島高校との音楽交流会
- '20. 2. 18 1学年校外スキー学習
- 2. 19 2・3学年校外スキー学習



上: 3学年見学旅行(関西方面)



下: 学校祭模擬店(喫茶)



右: 会議室を会場に個別卒業証書授与

2020-令和2年度-

- '20. 4. 9 入学式
- 4. 15 新入生歓迎会
- 4. 17 臨時休業 (~5/31)
- 6. 2 分散登校(2・3学年～6/5)
- 6. 8 分散登校(1・3学年～6/12)
- 10. 28 3学年決意発表会
- 10. 29 2学年宿泊研修 (~6/30)
- 11. 2 3学年現場実習 (~11/27)
- 12. 4 2学年決意発表会
- 12. 8 2学年後期職場実習 (~12/18)
- 12. 24 2・3学年現場実習報告会
- '21. 1. 27 生活体験発表会
- 3. 3 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 13 卒業証書授与式

※スポーツ大会、2学年前期職場実習、学校祭、3学年見学旅行、北広島高校との音楽交流会、校外スキー学習等は中止。
その他全校での行事はHR教室にてTV視聴形式で実施。



左：3年生授業風景（距離をとった椅子配置で実施）

右：3年生TV放送での行事



2021-令和3年度-

- '21. 4. 9 入学式
4. 21 新入生歓迎会
5. 17 2学年前期実習 (~5/21)
7. 8 スポーツ大会
7. 3 2・3学年決意発表会
9. 6 2学年後期職場実習・3学年現場実習 開始
9. 16 1学年職場・福祉サービス事業所見学
10. 15 2学年職場実習報告会
10. 28 3学年現場実習報告会
11. 5 学校祭(一般公開日は設けない)
11. 30 しらかば店(本校体育館)
12. 15 生活体験発表会
12. 23 異学年交流会
'22. 2. 8 1・2学年校外スキー
2. 9 3学年校外スキー
2. 24 卒業生を送る会・感謝する会
3. 5 卒業証書授与式



上：マスク着用でのスポーツ大会練習

※3学年見学旅行、2学年宿泊研修、2学年前期職場実習、芸術鑑賞会、北広島高校との音楽交流会等は中止。

その他全校での行事は HR 教室にて TV 視聴形式で実施。



右：少人数、距離をとっての学校祭練習



2022-令和4年度-

'22. 4. 11 入学式

4. 20 新入生歓迎会

5. 23 2学年前期実習 (~5/27)

5. 24 3学年見学旅行(~5/27 道内)

6. 15 芸術鑑賞会

7. 5 作業製品展示・販売会

7. 12 スポーツ大会

9. 2 2・3学年決意発表会

9. 2 2学年後期職場実習・3学年現場実習 開始

9. 15 1学年職場・福祉サービス事業所見学

9. 30 2学年後期職場実習報告会

10. 14 3学年職場実習報告会

10. 26 しらかば店

11. 10 学校祭(一般公開日は設けない)

12. 15 北広島高校との音楽交流会

12. 21 生活体験発表会

'23. 2. 7 1学年校外スキー

2. 8 3学年校外スキー・2学年宿泊研修(~2/9)

2. 24 卒業生を送る会・感謝する会

3. 4 卒業証書授与式



三学年見学旅行：登別・大沼など道南方面



2023-令和5年度-

- '23. 4. 11 入学式
4. 19 新入生歓迎会
5. 22 2学年前期実習 (~5/26)
5. 23 3学年見学旅行 (~5/26)
6. 27 2学年職場見学会
6. 29 スポーツ大会
7. 20 芸術鑑賞会
9. 1 2・3学年決意発表会
9. 4 2学年後期職場実習・3学年現場実習 開始
9. 14 1学年職場・福祉サービス事業所見学
9. 22 2学年後期職場実習報告会
10. 11 しらかば店
10. 13 3学年現場実習報告会
10. 26 2学年宿泊研修 (~10/27)
11. 17 学校祭(11/18 保護者へ公開)
12. 14 北広島高校との音楽交流会
'24. 2. 6 2学年校外スキー
2. 7 3学年校外スキー
2. 28 卒業生を送る会・感謝する会
3. 9 卒業証書授与式



左:学校祭・学年劇



中央:校外スキー学習



右と上:寄宿舎イベント



2024-令和6年度-

- '24. 4. 9 入学式
- 4. 24 新入生歓迎会
- 5. 14 ファイターズ観戦
- 5. 21 3学年見学旅行 (~5/24)
- 6. 3 2学年前期職場実習 (~6/7)
- 6. 27 スポーツ大会
- 7. 2 2学年職場見学
- 9. 6 2・3年学年決意発表会
- 9. 9 2学年後期職場実習・3学年現場実習 開始
- 9. 19 1学年職場・福祉サービス事業所見学
- 9. 27 2学年後期職場実習報告会
- 10. 9 しらかば店
- 10. 11 3学年現場実習報告会
- 10. 24 2学年宿泊研修 (~10/25)
- 11. 15 学校祭(11/16一般公開日)
- 12. 12 北広島高校との音楽交流会
- 12. 18 生活体験発表会
- '25. 2. 5 3学年校外スキー
- 2. 28 卒業生を送る会・感謝する会
- 3. 8 卒業証書授与式



上:ファイターズ観戦



左:校内での企業説明会



中央:しらかば店



右:学校祭(キッチンカー)



1 キャリア教育の充実

令和6年度より企業や福祉サービス事業所と連携し、外部講師による模擬面接、企業説明会や企業講話を実施しました。また、希望する生徒を対象とした長期休業中1～5日間程度の企業でのインターンシップを実施しました。インターンシップ先の企業とのつながりから前提実習に進み、企業側も前向きに雇用を検討していただく良い機会となりました。

令和7年度より「職業」の時間として教育課程に位置付けました。これまで行っていた「進路の学習」や「事前学習・事後学習」を「職業」と位置付け、内容の精選と系統性をもたせた指導内容としました。令和8年度に向けて、さらに検討し、キャリア教育の視点から自分のキャリアをどのように積むのかを考えられるように自己理解や他者理解、キャリア発達の視点も含め計画し、学習内容を整えていきます。

2 希望の就労と就労継続(定着率)への支援
生徒が希望する就労を実現し、その後の就労継続を支援することを重要な使命としています。49回生から55回生までの3年定着率は66.8%を達成。本校卒業生の離職率は33.2%で、新規高卒就職者の38.4%、新規大学卒就職者の34.9%（令和3年3月卒）と比較しても遜色ありません。しかし、高卒・大卒と変わらない離職率であっても、特別支援学校卒業生の再就職は難しいケースが多いため、本校では就職率よりも定着率を重視しています。

離職の主な理由は「就労意欲の低さ」「人間関係」「生活の乱れ」であり、要因としては生徒の自己理解不足、体験・経験・知識の

不足、本人と仕事・職場のミスマッチが挙げられます。これらの課題克服のため、体験・経験・知識の幅を広げることを重視し、実習回数を増やし適性を見極めるほか、学校の実習以外のインターンシップの活用や外部講師を含む進路学習で知識を広げる指導を行っています。また、職種だけでなく職場のマッチングをより重視し、ステップアップしていくことが安定した就労継続につながる考えています。

3 実習形態の変化

令和2年度（54回生）から2年生前期職場実習を導入し、早期から職業理解と実社会での体験を拡充しました。

さらなる充実として令和7年度から、実習名称を「職場実習」から「現場実習」へ変更し、2年生後期実習の選択肢を企業に加え福祉サービス事業所やグループホーム体験等へ拡大しました。また、1年生での「現場実習」導入や学校独自のインターンシップ開拓も進め、体験の早期化と多様化を図りました。

最後に、「就職率よりも定着率を重視する」という考え方のもと、職種だけでなく「職場のマッチング」を重視し、生徒の実態と社会情勢に合わせた進路指導、卒業後支援を行い、企業や社会が求める「働く力」「求める力」を育成しつつ、生徒一人一人が自己理解を深め、社会で活躍できる人材となるよう、体験・経験・知識の幅を広げる支援を継続していきます。生徒が希望の就労を継続し、充実した人生を送れるよう、きめ細やかな進路指導と卒業後支援に邁進してまいります。



「寄宿舎教育の概要」

寄宿舎

1 はじめに

本校寄宿舎は、昭和 40 年の学校設立と同時にスタートしました。

この間、昭和 63 年度から平成 3 年度まで校舎改築工事が行われ、平成 2 年度より新寄宿舎に移りました。平成 22 年度から 2 年間にわたり、学校とともに大規模改修工事を実施、現在に至っています。

舎生数は、令和 7 年度 4 月、男子 58 名、女子 18 名。寄宿舎指導員数は、男性 9 名、女性 7 名の計 16 名です。

寄宿舎では、指導内容の中心が基本的生活習慣の指導から、コミュニケーションを含めた社会性の指導へ変化しています。それはこれまで以上に、他者の行動を理解したり、相手の気持ちを考えたりする力や経験を育てることを大切にしているからです。

こうした変化に合わせて、寄宿舎が果たす機能や寄宿舎に求められる役割も変化し特性や生徒個々の状態に応じたきめ細やかな指導や、一人一人の特性に応じた指導をより一層充実させて行くことが必要です。そして、学習会など教育活動にタブレット端末を活用するなど、時代に合わせて指導方法も変化させています。また、余暇活動のニーズも高まっており、スマートフォンの使用方法等について考えていくことも求められています。

近年、全道的に通学型の高等支援学校の新設がされて久しくなりました。その中で、寄宿舎のある本校への期待やニーズも

大きくなってくると思われます。寄宿舎を希望して入学してくる生徒や保護者に対して、どう応えていくか。開校 60 年という新たな節目を契機に、これまで大切にしてきた寄宿舎での生活指導や今求められている寄宿舎の役割、また、これから期待されるであろう寄宿舎の意義などについて改めて考えながら実践に取り組んでいきます。

2 寄宿舎での指導について（寄宿舎指導の 3 つの柱）

【生活と営む力を育てる】

・自立【身辺処理、精神的、社会的自立】を目指し、寄宿舎生活を通して、集団を活用して指導を行っています。

【社会性を育てる】

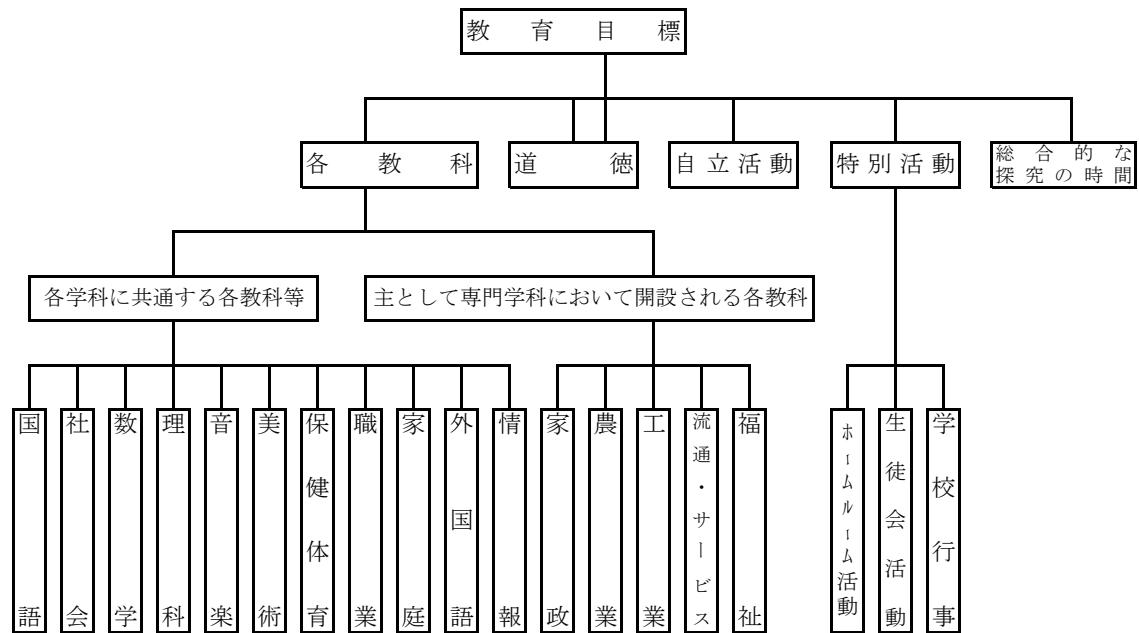
・集団生活を通して、人との関わりや他者のことを考える機会を経験できるようにしています。

【心を育てる】

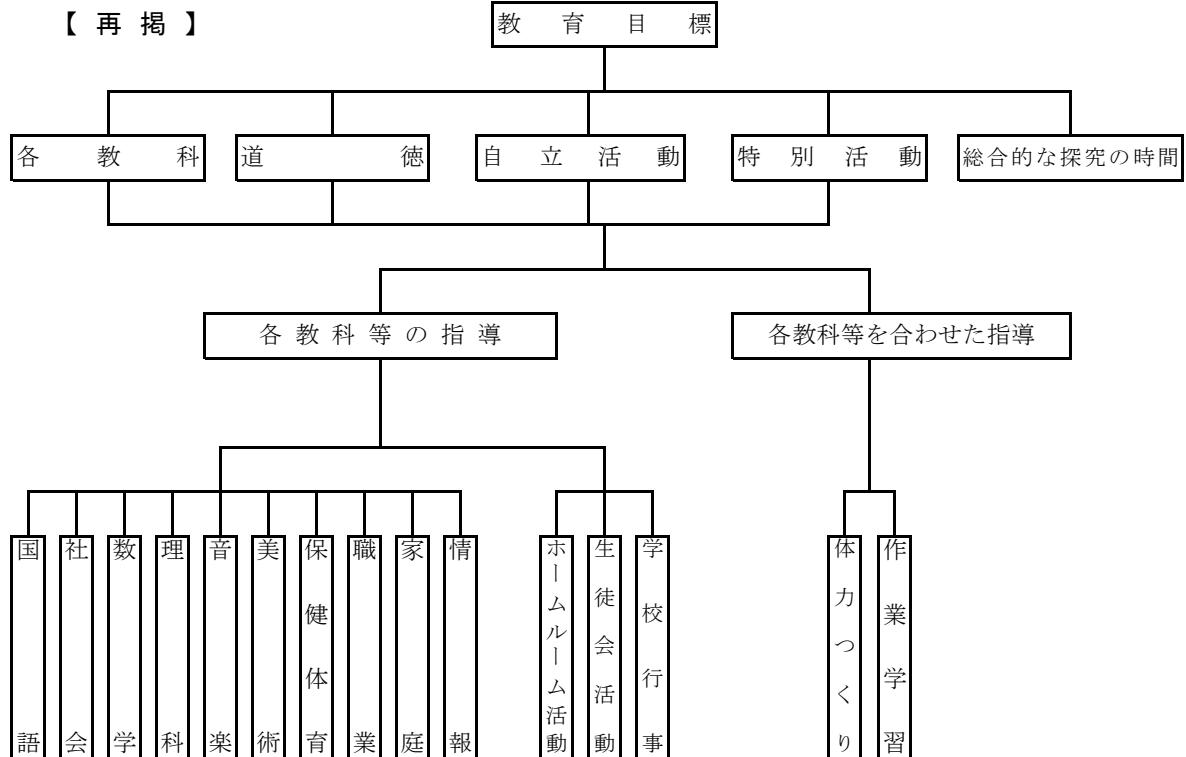
・集団生活を通して、喜びや楽しみなどの感情を共有し合う人間関係を目指しています。



教育課程の構造



【再掲】



※「国語」「社会」「数学」「理科」は 1学年と2学年

